

令和4年度 東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI実績

「◎」・・・順調(実績が目標値の100%以上) 「○」・・・概ね順調(実績が目標値の99%~75%)
「△」・・・やや遅れている(実績が目標値の74%~50%) 「×」・・・遅れている(実績が目標値の49%以下)
「-」・・・現段階では実績が表せないもの

Table with columns: 基本目標, 基本施策等, KPI, 基準値, 最終目標値, 数値目標タイプ, 担当課, 年度別目標/実績 (2020-2024), 2022達成状況, 単年度目標が未達成の場合の理由を付記し、今後の展開について記載すること, 進捗率, 進捗状況, 担当課所見・進捗が遅れている理由・今後の展開. Rows include categories like 基本目標I, 働く場の創出と拡大, 地域ブランドの振興と関連産業の育成, 基本目標II, 観光振興による交流人口の創出・拡大, 地域資源を活用した個人や企業の関係人口の創出・拡大, 東御市への移住・定住の促進.

基本目標	基本施策等	KPI	基準値	最終目標値	数値目標タイプ	担当課	年度別目標/実績【上段:目標、下段:実績】					2022達成状況	単年度目標が未達成の場合は理由を付記し、今後の展開について記載すること	進捗率	進捗状況	担当課所見・進捗が遅れている理由・今後の展開	
							2020	2021	2022	2023	2024						
基本目標Ⅲ 数値目標	合計特殊出生率 【東御市人口ビジョン】 基準:1.69(2018年) 目標:1.71(2024年)		1.69	1.71	増加	健康保健課	1.69	1.70	1.70	1.71	1.71	△	・高齢女性人口の減少 ・第1子出産年齢の高齢化 ・婚姻件数の減少 ・第2子以降の出生数減は新型コロナウイルスの影響による妊娠控えが推測される。 ・妊婦からの支援体制充実を図る。	77.0%	△	・結婚、出産に対する意識の変化 ・2022年度の妊婦届出数は168件で過去最少。出生数の更なる減少が見込まれる。 ・妊婦、出産に係る保険適用の拡大等制度変更に応じた支援策について検討する。	
							1.41	1.39	1.31								
	18歳未満の子どもを育てている世帯数 【東御市市民課集計】 基準:2,663世帯(2019年) 目標:現状値以上(2024年)		2,663世帯	2,663世帯	増加	子ども家庭支援課	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	○	・合計特殊出生率はコロナ禍で一段と低下しており、人口ビジョンとは大きな乖離がみられる。 ・少子化対策は急務であるが、国策として戦略的展開が必要。	93.7%	○	・合計特殊出生率はコロナ禍で一段と低下しており、人口ビジョンとは大きな乖離がみられる。 ・少子化対策は急務であるが、国策として戦略的展開が必要。	
							2,616世帯	2,585世帯	2,494世帯								
	出会いの場の創出 【東御市の統計】 基準:122件(2018年) 目標:125件(2024年)		122件	125件	増加	子ども家庭支援課	123件	123件	124件	124件	125件	○	・結婚や子育てに希望が持てるよう、国策として経済的支援やワークライフバランスの早期確立が必要。	75.1%	○	・結婚や子育てに希望が持てるよう、国策として経済的支援やワークライフバランスの早期確立が必要。	
							99件	116件	93件								
	出産・子育て支援の充実	子育て支援センター事業の利用者数(延べ人数) 【東御市子育て支援課集計】 基準:17,857人(2018年) 目標:18,150人(2024年)		17,857人	18,150人	増加	子ども家庭支援課	17,916人	17,974人	18,033人	18,091人	18,150人	△	・新型コロナウイルス感染症蔓延により利用者数の限定を行ったため。	62.1%	△	・出生数が年々低下しているのに比べて利用数は昨年度より増加。 ・子育て家庭が孤立しないよう、乳児健診の機会を捉え、来所できない方への声掛けを継続して実施する。
								9,219人	9,977人	11,192人							
		25~44歳の女性の就業率 【国勢調査・RESAS】 基準:73.8%(2015年) 目標:78%(2024年)		73.8%	78.0%	増加	子ども家庭支援課	74.6%	75.5%	76.3%	77.2%	78.0%	-	・現段階では実績が表せないもの	0.0%	-	・現段階では実績が表せないもの
								-	68.7%	-							
「女性のための就労相談会」相談者数 【東御市子育て支援課集計】 基準:23人(2018年) 目標:40人(2024年)			23人	40人	増加	子ども家庭支援課	26人	30人	33人	37人	40人	×	・新型コロナウイルス感染症蔓延により支援センター内での相談会は実施できなかったため。	30.1%	×	・仕事と子育ての両立支援の観点から、保護者の様々な悩みを受け止め必要に応じてつなげるとともに、就労や社会参加のきっかけづくりの場として相談会を継続する	
							21人	6人	10人								
妊産婦相談訪問実施率 【東御市健康づくり計画 後期計画】 基準:93%(2018年) 目標:95%以上(2024年)		93.0%	95.0%	増加	健康保健課	93.4%	93.8%	94.2%	94.6%	95.0%	◎		102.1%	◎			
						88.2%	90.0%	98.2%									
子育てについて相談できる友人や場が無いと感じる親の割合(乳児家庭全戸訪問時調査) 【東御市健康づくり計画 後期計画】 基準:4.9%(2018年) 目標:4.5%未満(2024年)		4.9%	4.5%	減少	健康保健課	4.8%	4.7%	4.7%	4.6%	4.5%	◎		792.5%	◎			
						7.6%	4.6%	0.6%									
基本目標Ⅳ 数値目標	東御市に対する評価(住みよきランキング) 【東洋経済 都市データバンク】 基準:223位(2019年) 目標:223位以上(2024年)		223	223	減少	企画振興課	223位	223位	223位	223位	223位	×	・評価に使用される4つの指標のうち、利便性・富裕度が低く、順位を下げている。着実な政策展開により順位の上昇を目指す。	54.3%	×	・住みよきランキングは毎年評価項目が変わるため、順位を上げるための対応は難しいが、着実な政策展開により市の強みを伸ばすことで、順位の上昇を目指す。	
							413位	327位	411位								
	東御市は住みよいく感じる市民の割合 【東御市まちづくりアンケート】 基準:80.0%(2018年) 目標:85%(2024年)		80.0%	85.0%	増加	企画振興課	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%	◎		105.3%	◎		
-							-	87.4%									
地域づくり協議会が主催する地域づくり活動への参加者数 【東御市地域づくり支援室集計】 基準:445人(2018年) 目標:670人(2024年)		445人	670人	増加	地域づくり支援室	490人	535人	580人	625人	670人	○	・Withコロナの中、各地域づくり協議会が感染対策をすることで、コロナ前の活動に戻りつつあり、今後も活動の再開が加速すると思われる。	78.1%	○	・2020年から流行した新型コロナウイルスの影響により、地域づくり活動が停滞したが、2022年からWithコロナの中、各地域づくり協議会が工夫をし、活動再開に努めている。		
						213人	307人	453人									
地域づくり組織に占める若者世代(20~40代)の割合 【東御市地域づくり支援室集計】 基準:30%(2018年) 目標:50%(2024年)		30.0%	50.0%	増加	地域づくり支援室	34.0%	38.0%	42.0%	46.0%	50.0%	△	・役員の高齢化に伴い、稼働年齢世代への引継ぎが困難な状況となっている。今後、地域リーダー養成講座等を開催し、若者世代の取り組みを推進する。	68.1%	△	・役員の高齢化、定年延長、稼働年齢世代の負担感があり若者世代の割合増加が停滞気味にある。今後、役員の高齢化対策の地域づくり協議会が検討する必要がある。		
						26.3%	28.0%	28.6%									
新たな視点で取り組む、安心して暮らせる地域づくり	公共交通機関乗車人員総数(鉄道・バス・デマンド) 【東御市商工観光課集計】 基準:1,839人/日(2018年度) 目標:現状値維持		1,839人/日	1,839人/日	増加	商工観光課	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	○	・しなの鉄道 田中駅 1,056人 退野駅 338人 定時定路線バス 55人 デマンド交通 73人 ・コロナ禍による行動制限や外出自粛、公共交通機関の利用控え、民間路線の廃線、スクールバスの運行開始等の影響により利用者が全体的に減少傾向にある。 ・今後、東御市地域公共交通計画に基づき、利用者の獲得を目指す。利用ニーズにあわせて定時定路線バスの見直しやデマンド交通のAIシステム導入を行い、利用者の利便性向上及び利用促進を図る。	82.8%	○	・コロナ禍による行動制限や外出自粛、公共交通機関の利用控え、民間路線の廃線、スクールバスの運行開始等の影響により利用者が全体的に減少傾向にある。 ・今後、東御市地域公共交通計画に基づき、利用者の獲得を目指す。利用ニーズにあわせて定時定路線バスの見直しやデマンド交通のAIシステム導入を行い、利用者の利便性向上及び利用促進を図る。	
							1,313人/日	1,442人/日	1,522人/日								
地域で活躍する人財の育成・確保	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】 基準:小学生52.9% 中学生38.9%(2018年) 目標:全国平均値以上		52.9%	全国平均値以上	増加	地域づくり支援室	未実施	52.40%	51.30%	2023 全国平均値	2024 全国平均値	◎		115.4%	◎		
							未実施	59.60%	59.20%								
							未実施	43.80%	40.70%	2023 全国平均値	2024 全国平均値	◎					
							未実施	41.10%	44.10%								
オフサイトミーティングを活用した事業実施数(累計) 【東御市企画振興課集計】 基準:0件(2019年) 目標:4件(2024年) 累計4件(2024年)		0件	4件	増加	企画振興課	1件	1件	2件	3件	4件	◎		100.0%	◎			
						0件	0件	2件									
千曲川ワインバレー特区域域内収穫量 【千曲川ワインバレー特区域協議会集計】 基準:259トン(2018年) 目標:389トン(2024年)		259トン	389トン	増加	農林課	285トン	311トン	337トン	363トン	389トン	◎		100.6%	◎			
						336トン	237トン	339トン									
広域連携によるまち・ひと・しごこの創生	高地トレーニングエリアを活用したスポーツ会館団体数 【東御市文化スポーツ振興課集計】 基準:90団体(2018年) 目標:120団体(2024年)		90団体	120団体	増加	文化スポーツ振興課	96団体	102団体	108団体	114団体	120団体	◎		160.2%	◎	・リポーターに加え、新規団体も増えてきている。今後も新規団体の獲得を図っていきたい。	
							110団体	163団体	173団体								